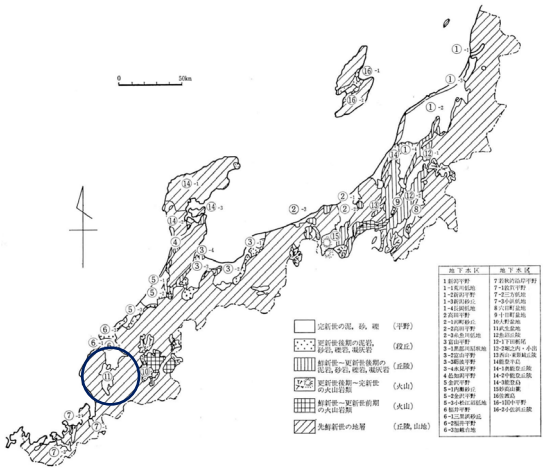
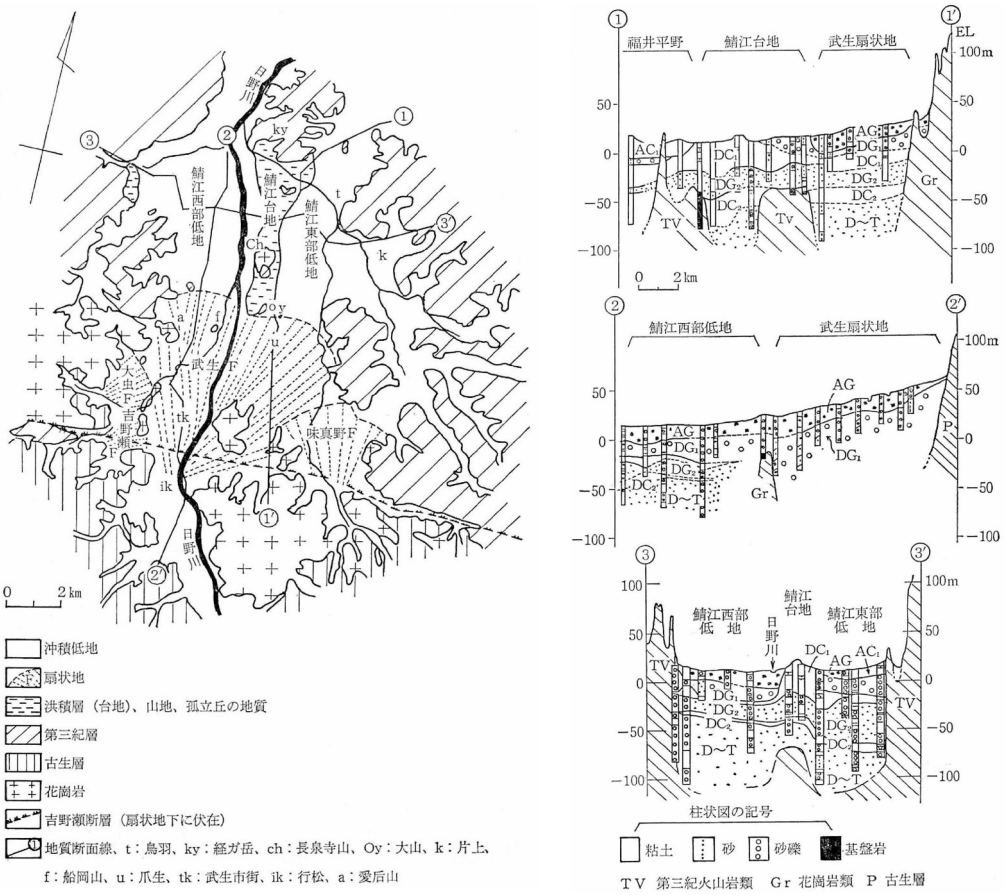
11.武生盆地



地形・地質

福井県北部，九頭竜川支流日野川の中下流域は武生盆地(あるいは鯖武盆地)と呼ばれます。盆地の北半部には沖積低地を二分する鯖江台地があり，南半部には扇状地が発達しています。



武生盆地の地形区分図と地質断面図

地下水

武生扇状地では，深さ 30m 未満の浅井戸が多く，AG 層・DG1 層といった扇状地礫層を帯水層としています。鯖江低地では，深度 50～100m の井戸が多く，帯水層は AG 層・DG1 層・DG2 層です。鯖江台地では，深さ 60～100m の井戸があり，主な帯水層は DG2 層です。

武生・鯖江地方の第四紀層序

(2) 畠山・川崎 1964	第 1 層	第 2 層	第 3 層		第 4 層	
(3) 福 井 県 1965	沖 積 層	洪 積 層				
		上 部 層	中 部 層	下 部 層		
(4) 北陸農政局（武生）1977	沖積層 I 層	洪 積 層				
		II-1層	II-2 層		II-3 層	
(5) 北陸農政局（水理地質図）1977	AG 層	DG_1層	DC_1 層	DG_2 層	DC_2 層	D～T 層
(6) 福 井 県 1982	AG 層	D_1G 層	D_1C 層	D_2G 層	D_2C 層	D_3 層

出典　日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater_database/（日本地下水学会）